

ニプロ社製逆止弁付穿刺針シールタッチカニューラの評価検討 ～メディカットセーフティカニューラとシールタッチカニューラとの使用比較をへて～

I.研究目的

近年、血液逆流防止弁がついた穿刺針の普及が進んできており、当院では2014年よりモザークメディカルジャパン社製メディカットセーフティカニューラを使用している。今回、ニプロ社より新たに「シールタッチカニューラ」が改良販売されたため評価検討した。

II.研究方法

ニプロ社製逆止弁付穿刺針の使用に同意が得られた維持透析患者12名を対象とし、実血流量、静脈圧を測定した。また、シールタッチカニューラを使用したスタッフに穿刺感覚、操作性等の主観的項目をアンケート調査した。

III.結果

シールタッチカニューラの方が静脈圧が高かったが、設定血流量に対して実血流量に大きな乖離はみられなかった。アンケートでは、針が持ちづらく逆血が分かりにくい、穿刺時に内筒が戻るなど操作性でマイナスイメージの意見もあったが、カニューラ内のエア抜機構やテープ固定は問題無いとの意見も多かった。

IV.考察

今回の評価にあたり、各社カニューラの形状・全長等が異なる事で穿刺角度や感覚も変わるため、カニューラの変更時は穿刺スタッフに確認やトレーニングを実施するなどカニューラの特長を事前に理解することが重要だと思われる。

V.結論

今回評価したニプロ社製シールタッチカニューラはメディカットセーフティカニューラに比べ、静脈圧は高くなるが、しっかりと実血流量が確保できるカニューラであった。

引用文献